

科目ナンバリング		U-LAS03 10007 SB48							
授業科目名 <英訳>	外国文献講読（法・英）II-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)II-E1				担当者所属 職名・氏名	法学研究科 教授 稲森 公嘉			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	金3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>法学・政治学に関する英語の専門論文を精読することにより、基礎知識を身につけるとともに、正確かつ批判的に外国語の論文を読む訓練を行う。</p> <p>この授業では、社会保障政策の選択肢について取り扱うテキストを精読する。その読解を通して、現代社会において必須の存在である社会保障制度についての理解を深めることを目指す。</p>									
【到達目標】									
<p>法学・政治学に関する英語の専門的文献を精読することにより、外国の法・政治に関する基礎知識を獲得するとともに、正確かつ批判的に外国語文献の原書を読むための技術を身につける。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>Danny Pieters, Navigating Social Security Options, palgrave macmillan, 2019の一部を精読する。本書は、ベルギーのルーヴァン・カトリック大学法学部教授である著者が、社会保障制度においてなされる政策の選択について、4分野53項目に分けて叙述したものである。</p> <p>第1回 イン트로ダクション 精読する文献及び参考文献等についての説明を行う。 精読の方法を説明し、翻訳の分担を取り決める。 日本の社会保障制度の現状について概説する。</p> <p>第2回～第14回 文献の精読 授業参加者で分担して翻訳を行い、必要に応じて解説を加えていく。</p> <p>定期試験</p> <p>第15回 フィードバック（試験の意図を解説し、参考文献等を適示して学生の自習を支援する）</p>									
【履修要件】									
外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。									
【成績評価の方法・観点】									
<p>定期試験（筆記）70%</p> <p>平常点評価（出席状況、授業内での報告内容）30%</p> <p>授業における報告を行うことは必須。</p> <p>4回以上授業を欠席した場合には、不合格とする。</p>									
----- 外国文献講読（法・英）II-E1(2)へ続く -----									

外国文献講読（法・英）II-E1(2)

[教科書]

精読する文献のコピーを事前に配布する。

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業では、毎週、輪読形式でその精読を行う。受講生が割り当てられた担当部分について日本語訳を発表し、それに教員が解説・補足を加えるかたちで進める。すべての受講生が必ず予習をして臨み、当てられた受講生以外の受講生も適宜、意見・質問を出すこととする。

[その他（オフィスアワー等）]

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。